

令和5年度

地域とともにある学校づくり

谷戸第二小学校 4年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：「西東京市をくらしやすい町に」
(活動名)

- ねらい：
- ・西東京市は誰もが暮らしやすい町なのか調査をする。
 - ・西東京市に住む障害のある方々から話を聞いたり、町の人へインタビューをしたりする。
 - ・自分たちの行動で、直接情報を入手するため、課題意識をもって取り組むことができる。
 - ・地域の福祉の現状と自分たちとの関わりについて気付き、地域に愛着をもつとともに、地域のために、自分たちにできることを考え取り組んでいく。



【5月】

西東京市には、どんな人が住んでいるのか。そして、障害者や高齢者などに注目し、もしかしたら暮らしに

くいのではないかと。そこから、西東京市は、誰もが暮らしやすい町になっているのか、調べようという課題設定をしました。



【6月】

視覚障害、聴覚障害の方や車いすの方との交流をしました。どのような生活をしているか、暮らしやすさについての考えなどを知ることができました。

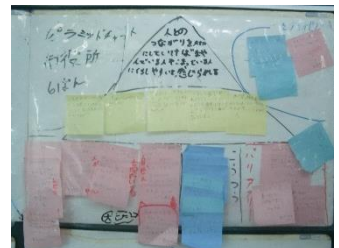


【9月】

街頭インタビューをしました。市役所や駅前、田無神社、公園など、いろいろなところに出かけ、調査を行いました。町の方々に「西東京市は暮らしやすい町だと思いますか?」と、インタビューし、町の方々の思いを聞き、情報収集をすることができました。

【9月】

これまで集めた情報を整理・分析しました。暮らしやすさにとって大切なことは何か、まとめをしました。分析の結果から大切なことは「人と人との優しいつながりや関わり」と考えました。ここから自分たちにできることは何か、次の課題設定をしていきます。



まとめ

子どもたちは、様々な人と出会い、交流しました。障害者の方々との出会いで、暮らしをよくするためにいろいろな道具があることやサービスがあることを知りました。しかし、逆にバリアフリーにしすぎるのも良くないという話もしていただきました。また、耳が聞こえなくても、目が見えなくてもそこには人と人のかかわりがあることに気づきました。街頭インタビューをする中でも、優しくインタビューに応じてくださる町の方々との出会いがありました。「人と人とのつながり」が暮らしやすい町にとって大切だということ学びました。